

やとみのよさん



令和4年度弥富市当初予算のあらまし



弥 富 市

予算の概要



予算って何？

市（市役所）は、市民の皆さんが安心して快適な生活を送ることができるように、皆さんの生活に関わるいろいろな仕事をしています。戸籍や住民票等の発行、税金の収納、道路や公共施設の補修・維持管理、防災・減災対策、学校や保育所の運営、保険・年金・福祉・医療事業、ごみの収集・処分など、その内容はさまざまです。

市がこのような市民サービスや各種施策を実施するのに必要なお金をどこからどれだけ得て、何にいくら使うのか計画すること、これが予算です。

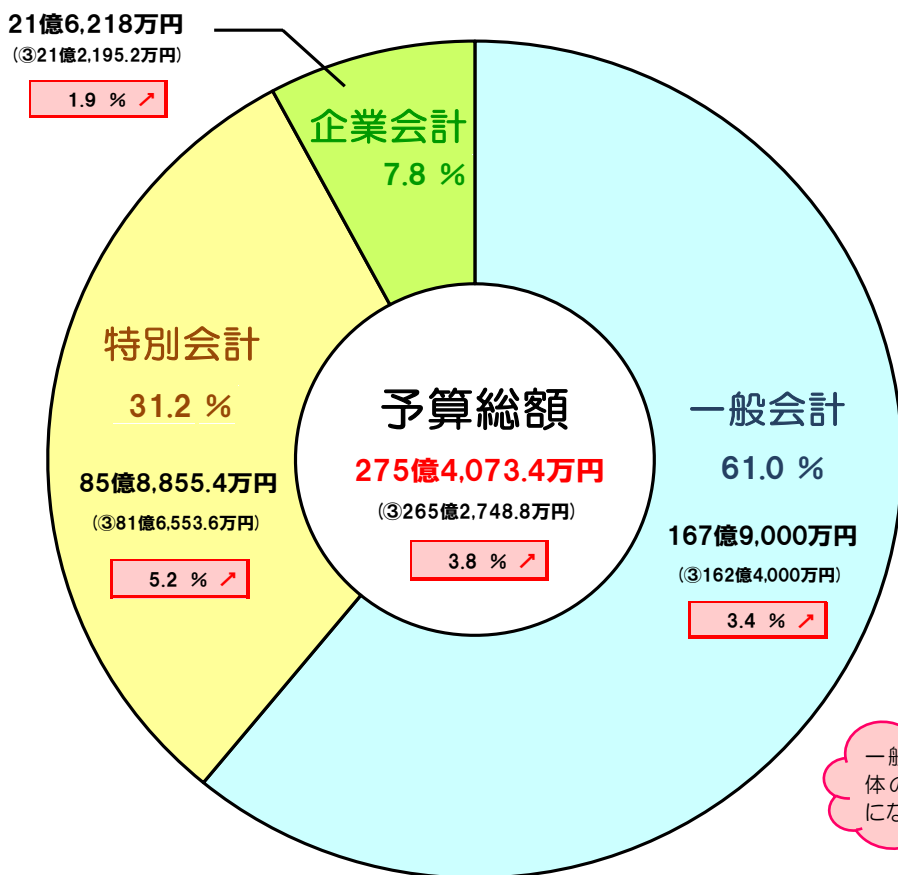


予算っていくらなの？

令和4年度の当初予算の総額

275億4,073.4万円

※一般会計、特別会計、企業会計の合計



前年度と比べると、全体で10億円近く増えてるね。



一般会計は、全体の6割くらいになるのね。



Dictionary

当初予算とは、その年度（4月～3月）1年間の予算を最初に決めたものをいいます。これに対して、年度の途中で当初予算が足りなくなったり、余ったりした場合や当初予算にないお金が必要になった場合などに、当初予算を変更するものを**補正予算**といいます。



Dictionary

会計とは、お金の出し入れをする“財布”のようなものです。市の会計は、内容によっていくつかの種類に分けられていて、皆さんが市に納める税金や国・県からの交付金などを使うものを**一般会計**といい、市の仕事を行う上での基本的な会計です。これに対して、皆さんにお支払いいただく保険料で療養費の給付などの保険事業を行うように、そのお金の使い道が決まっているものを**特別会計**、民間企業と同様に皆さんにお支払いいただく料金収入などにより運営するものを**企業会計**といい、一般会計とは区別されます。



特別会計・企業会計ってどんなものがあるの？



区 分	予 算 額	増 減
土地取得特別会計	3億7,329.4万円 (③1.6万円)	- %
国民健康保険特別会計	38億2,897万円 (③39億2,453万円)	2.4%
後期高齢者医療特別会計	7億2,199万円 (③6億7,399万円)	7.1%
介護保険特別会計	36億6,430万円 (③35億6,700万円)	2.7%
特別会計合計	85億8,855.4万円 (③81億6,553.6万円)	5.2%
下水道事業会計	21億6,218万円 (③21億2,195.2万円)	1.9%
企業会計合計	21億6,218万円 (③21億2,195.2万円)	1.9%

※土地取得特別会計の令和4年度予算額は土地取得費の計上により大幅な増加となるため、増減を「-」で表記しています。



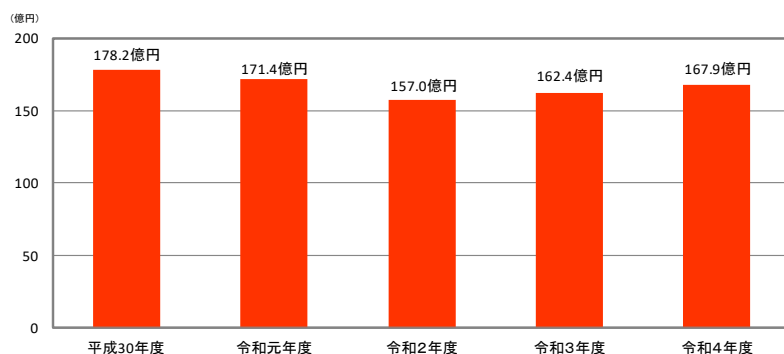
予算ってどうやって決まるの？

予算は、市長が予算案を作成して議会に提出し、議会での審議を経て、議決されることにより成立します。予算が成立してはじめて、市は市民サービスや各種施策を行うための費用を支出することができるようになります。



これまでとどのくらい違うの？

最近5年間の一般会計当初予算額の推移



令和4年度の一般会計の予算は、過去3番目に大きい予算なんだね。

一般会計の歳入と歳出

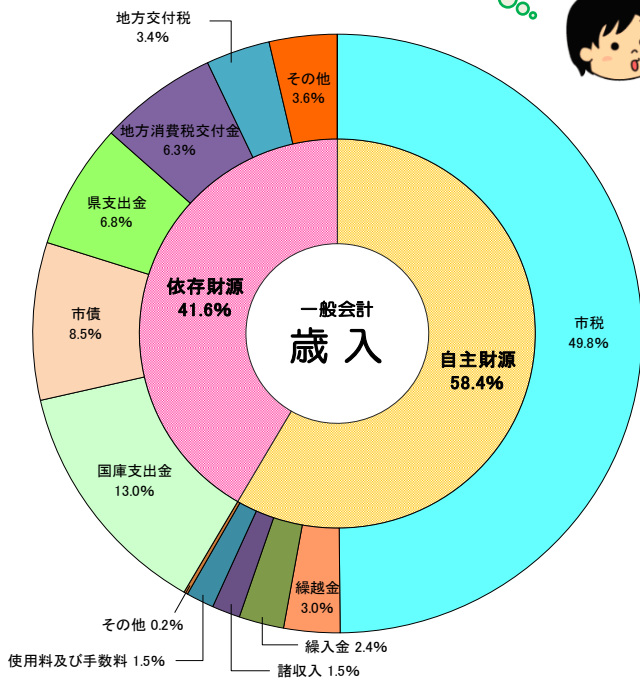


歳入と歳出って？

家庭では、給料や事業利益などの収入を得て、ここから生活に必要な費用を支出します。この家庭での収入と支出が市での歳入と歳出です。つまり、市が仕事をするために、得るお金が歳入、使うお金が歳出です。

一般会計の歳入には、市民の皆さんに納めていただく税金のほか、国・県からの交付金や補助金、借入金、皆さんが施設等を利用した際に負担していただく使用料や手数料などがあります。市はこの歳入のお金を使って、まちづくりや市民サービスに関する各種事業（歳出）を行います。

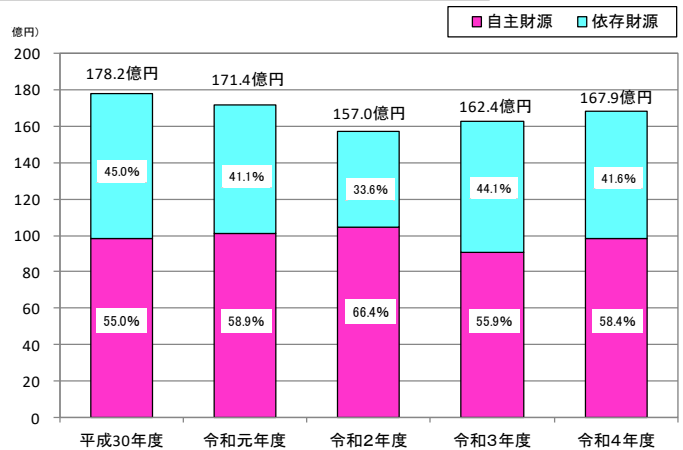
歳入



弥富市の自主財源比率は、毎年だいたい6割ってとこだね。

自主財源と依存財源の割合の推移

※当初予算額での比較



Dictionary

歳入総額に占める自主財源の割合を**自主財源比率**といいます。自主財源比率が高いほど、財政状況が安定しているといえます。

市の歳入って、市民が納める税金以外にも、こんなにたくさんあるんだね。

市税は歳入全体の約半分。国や県からもらうお金や市債などの依存財源は4割程になるんだよ。

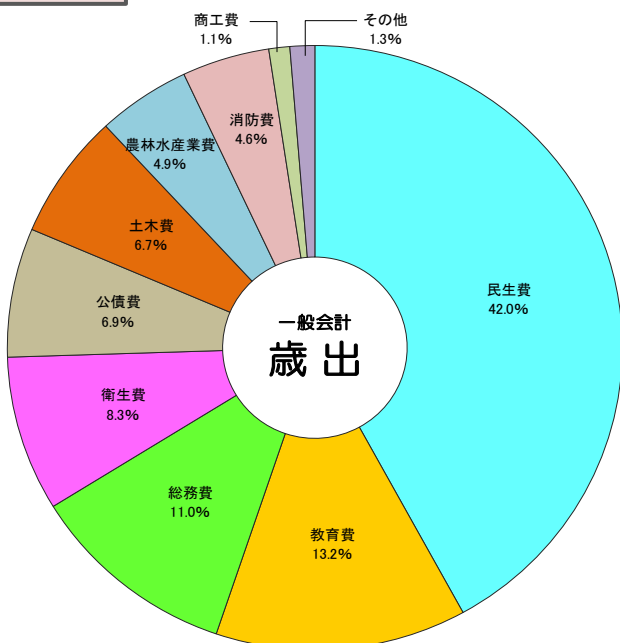
令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で大きく市税が減少してたけど、徐々に税収が回復しているようだね。

一般会計 歳入内訳

区 分	予 算 額	増 減	説 明
自 主 財 源	98億250.6万円 (390億2,287.7万円)	7.9% ↑	市が自主的に収入するお金
市 税	83億6,814.8万円 (376億1,610.3万円)	9.9% ↑	固定資産税、市民税、市たばこ税、軽自動車税、入湯税
繰 越 金	5億0円 (35億0円)	0.0% →	前年度の予算の余りを翌年度に持ち越したお金
繰 入 金	4億29.2万円 (34億2,574.9万円)	6.0% ↓	積立金の取崩しや特別会計から一般会計に移動させたお金
諸 収 入	2億5,062万円 (32億5,127万円)	0.3% ↓	預金利子、延滞金 など
使 用 料 及 び 手 数 料	2億4,880万円 (32億5,535.4万円)	2.6% ↓	公共施設の使用料や保育所の利用料のように、利用者などが支払うお金
そ の 他	3,464.6万円 (3,440.1万円)	0.7% ↑	土地の貸付けなどによる財産収入、分担金や負担金 など
依 存 財 源	69億8,749.4万円 (371億5,712.3万円)	2.4% ↓	国や県からの交付金・補助金などのお金
国 庫 支 出 金	21億8,520.3万円 (319億4,756.7万円)	12.2% ↑	特定の事業のために国から交付されるお金
市 債	14億2,800万円 (315億6,690万円)	8.9% ↓	国や金融機関などから借りたお金
県 支 出 金	11億3,558.9万円 (315億7,154万円)	24.7% ↓	特定の事業のために県から交付されるお金
地 方 消 費 税 交 付 金	10億6,000万円 (39億8,000万円)	8.2% ↑	国が徴収した地方消費税の中から、市に交付されるお金
地 方 交 付 税	5億7,100万円 (33億200万円)	89.1% ↑	国が徴収した税金(所得税など)の中から、市の財政状況に応じて交付されるお金
そ の 他	6億770.2万円 (38億5,350.2万円)	28.8% ↓	上記以外で国や県からもらうお金
合 計	167億9,000万円 (3162億4,000万円)	3.4% ↑	



歳出



民生費が一番大きくて、歳出全体の4割くらいを占めているね。

高齢者や児童、障がい者の福祉だったり、子育て支援なんかがあるからなあ。やっぱり福祉には、たくさんお金が必要なんだね。



一般会計 歳出内訳

区 分	予 算 額	増 減	説 明
民 生 費	70億4,563.8万円 (367億7,906.7万円)	3.9% ↑	高齢者・児童・障がい者福祉、生活保護、子育て支援などの事務・事業に使うお金
教 育 費	22億2,322.3万円 (314億1,131.8万円)	57.5% ↑	学校の運営や公民館活動、スポーツ振興などに使うお金
総 務 費	18億4,245.5万円 (317億4,307.3万円)	5.7% ↑	課税・徴収、住民登録、選挙、統計など、市の総合的な事務・事業に使うお金
衛 生 費	13億9,699万円 (318億1,257.6万円)	22.9% ↓	ごみ処理や公害対策など、環境・保健衛生に関する事務・事業に使うお金
公 債 費	11億6,204.2万円 (310億5,432万円)	10.2% ↑	借りたお金(市債)の返済金
土 木 費	11億1,537.6万円 (310億40.1万円)	11.5% ↑	道路・公園などの施設の整備や維持管理、都市計画事業などに使うお金
農 林 水 産 業 費	8億2,511.6万円 (312億1,520.4万円)	32.1% ↓	農業や林業、漁業を始めとした水産業の支援・活性化、土地改良事業などに使うお金
消 防 費	7億7,675.2万円 (37億5,336.8万円)	3.1% ↑	消防活動や災害対策のために使うお金
商 工 費	1億8,962.5万円 (32億5,800.2万円)	26.5% ↓	中小企業の支援や観光振興、労働者福祉などに使うお金
そ の 他	2億1,278.3万円 (32億1,267.1万円)	0.1% ↑	議会の運営・活動に使うお金など
合 計	167億9,000万円 (3162億4,000万円)	3.4% ↑	



難しい用語も、家計に置き換えてみるとわかりやすくなるね。

市民1人あたりの歳入・歳出の額

歳入

市民1人あたりが負担する税額

固定資産税	113,233円 (49億8,804.8万円)
土地や家屋、償却資産(事業用資産)にかかる税	
市民税	66,991円 (29億5,100万円)
個人の所得や法人の収益に対してかかる税	
市たばこ税	7,037円 (3億1,000万円)
たばこの消費に対してかかる税	
軽自動車税	2,674円 (1億1,780万円)
軽自動車、自動二輪車などに対してかかる税	
入湯税	30円 (130万円)
温泉に入るときにかかる税	
合 計	189,965円 (83億8,148.8万円)

歳出

市民1人あたりに使われる金額

民 生 費	159,943円 (70億4,563.8万円)
教 育 費	50,469円 (22億2,322.3万円)
総 務 費	41,825円 (18億4,245.5万円)
衛 生 費	31,713円 (13億9,699万円)
公 債 費	26,379円 (11億6,204.2万円)
土 木 費	25,320円 (11億1,537.6万円)
農 林 水 産 業 費	18,731円 (8億2,511.6万円)
消 防 費	17,633円 (7億7,675.2万円)
商 工 費	4,305円 (1億8,962.5万円)
そ の 他	4,830円 (2億1,278.3万円)
合 計	381,148円 (167億9,000万円)

※ 金額は、それぞれの予算額(カッコ内の額)を令和4年1月1日住民基本台帳人口の44,051人で割ったものです。

一般会計を家計に当てはめると...

年間の収入総額を500万円として計算

歳入

家 計	市 の 予 算
給料などの基本的な収入	298.9万円
親などからの援助	115.9万円
パート・家賃収入など	15.9万円
預金の引き出し、前年の残金	26.8万円
金融機関からの借入れ	42.5万円
合 計	500万円
市税、地方譲与税、交付金など	100億3,585万円 (59.8%)
地方交付税、国・県支出金	38億9,179万円 (23.2%)
分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入など	5億3,407万円 (3.2%)
繰入金、繰越金	9億29万円 (5.3%)
市債	14億2,800万円 (8.5%)
合 計	167億9,000万円 (100.0%)

歳出

家 計	市 の 予 算
食費・日用品などの生活費	192.0万円
医療費・教育費など	94.4万円
ローンの返済	34.6万円
家屋や家電品などの修理	4.8万円
子どもへの仕送りなど	113.6万円
家屋の増改築・車の購入など	59.7万円
貯金	0.9万円
合 計	500万円
人件費、物件費	64億4,913万円 (38.4%)
扶助費	31億7,034万円 (18.9%)
公債費	11億6,204万円 (6.9%)
維持補修費	1億5,978万円 (1.0%)
補助費等、貸付金、繰出金など	38億1,529万円 (22.7%)
投資的経費	20億330万円 (11.9%)
積立金など	3,012万円 (0.2%)
合 計	167億9,000万円 (100.0%)

令和4年度の主な施策

交通対策事業

コミュニティバス運行事業〈継続〉

1億1,997万円

市民の通学、通勤、通院、買物など生活のための移動手段の確保、公共交通空白地域の解消を目的として、北部・南部・東部の3ルートを中型バス2台・マイクロバス3台でコミュニティバスを運行します。また、令和3年9月より急行便の第1期社会実験運行を実施しており、その結果等を適正委に評価し改善を行い、第2期社会実験運行を4月から実施します。



福祉関連事業

子ども医療費助成事業〈拡充〉

2億2,721.8万円

「子育てするなら弥富市へ」をスローガンに掲げ、定住者の増加を図るため、保険診療分の自己負担額に対する助成対象年齢を中学生世代から高校生世代まで拡充し、入院にかかると医療費の助成を行います。

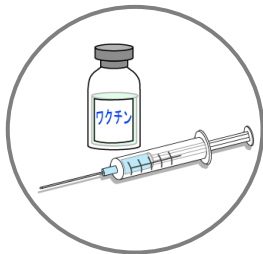


衛生関連事業

新型コロナウイルス感染症対策事業〈継続〉

2億3,677.2万円

新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、ワクチン接種を集団接種及び個別接種で実施します。



産業振興事業

農業振興事業〈継続〉

野菜集団産地整備支援事業	604.8万円
共同防除支援事業	240万円
生産調整推進対策の支援事業	3,998万円
土地改良施設整備事業	7,250万円
地盤沈下対策事業	3,165.2万円
特定農業用管水路特別対策事業	2,994.3万円
緊急農地防災事業	4,486.7万円
多面的機能支払事業	1億3,955万円

効率的な営農に向けて、土地利用の適正な管理や担い手への農地集積・集約化の推進に取り組むとともに、収益力向上を図るため農業者等の支援を行います。また、農地や農業用施設等の湛水被害を未然に防止するため、農地防災事業を推進します。





都市開発事業

自由通路等整備事業〈継続〉

6,546.3万円

J R・名鉄弥富駅周辺地区において、鉄道により分断された南北地区の連携強化、駅東西踏切を通行する歩行者・自転車の安全確保、高齢者・障がい者等の利便性を高めるバリアフリーに配慮した交通結節点の整備を図るため、J R・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎、弥富駅北口駅前広場の整備を行います。



自由通路南ロイメージ

生活基盤整備事業

公共下水道事業〈継続〉

8億7,589.1万円

市街化区域及び人口集中地域を重点整備区域として、効率的な整備と事業のコスト削減の取り組みを進めることとし、佐古木地区・鯛浦地区・五明地区の整備を進めます。



教育環境等整備事業

スクールソーシャルワーカー配置事業〈新規〉

279万円

いじめ・不登校をはじめ虐待やヤングケアラー問題などを抱える児童生徒を取り巻く課題について、生活環境面から関わり、学校・家庭・地域などと連携し課題の解決を目指します。

(スクールソーシャルワーカーとは)

児童・生徒の置かれた様々な環境に支援を行い、関係機関等と連携して課題解決への対応を図っていく人材。



総合体育館特定天井撤去工事〈新規〉

1億6,450万円

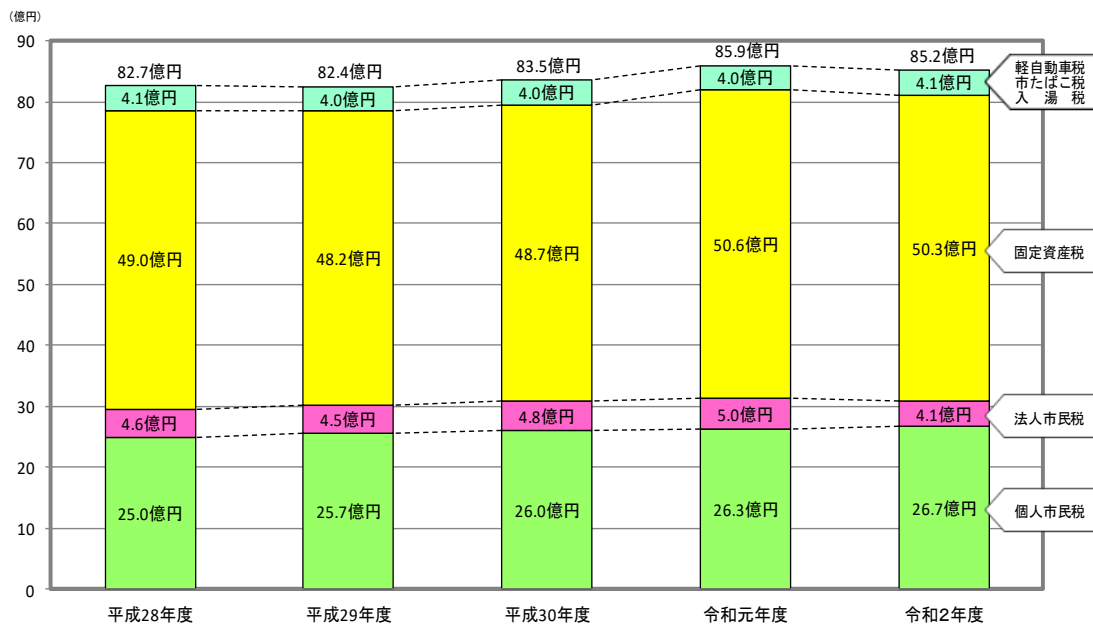
総合体育館は有事の際の避難所に指定されていることから、安全・安心な公共施設とするため、天井撤去工事を実施します。

(現在の総合体育館（アリーナ）の様子)



参考資料

市税収入の推移



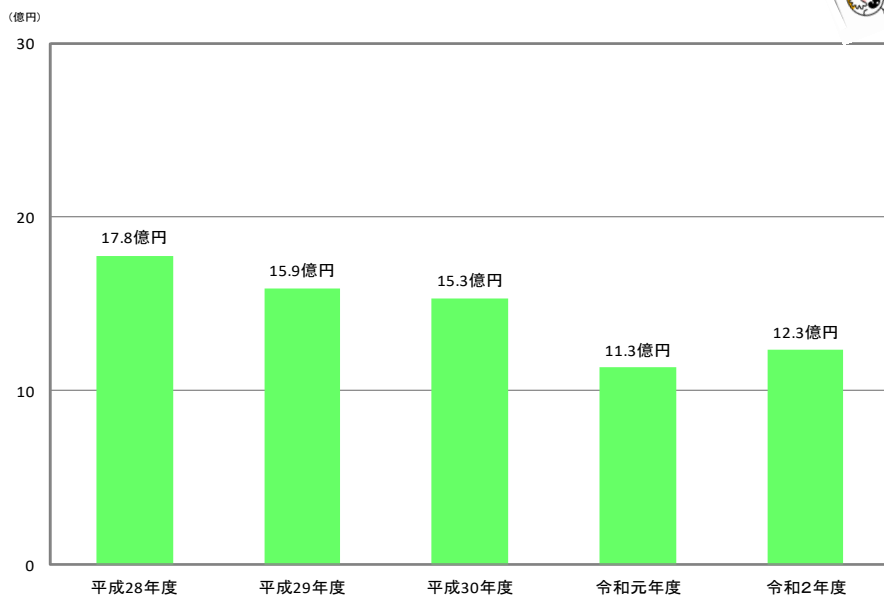
市民の皆さんからお預かりした大切なお金を、市民サービスや各種施策に有効に活用していきます！



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあって税収が減少しているね。



財政調整基金の年度末残高の推移



Dictionary

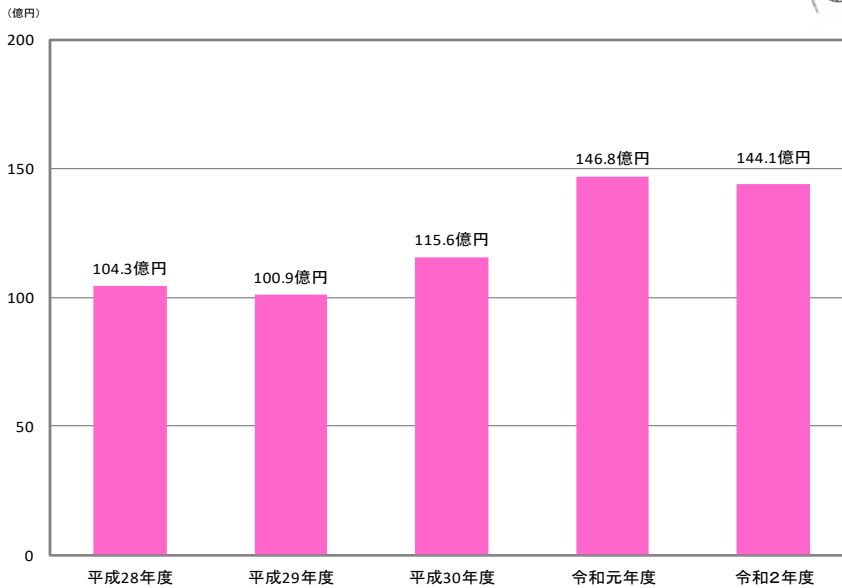
地方公共団体が特定の目的のために積み立てた資金や資金運用のために設けた財産を**基金**といいます。**財政調整基金**は、社会の不況で税収が大幅に減ったり、災害が発生して急にたくさんのお金が必要になった場合などに備えて積み立てている市の**貯金**です。

家庭と同じように、市もいざというときのために、貯えが必要だね。





市債（一般会計分）の年度末残高の推移



Dictionary

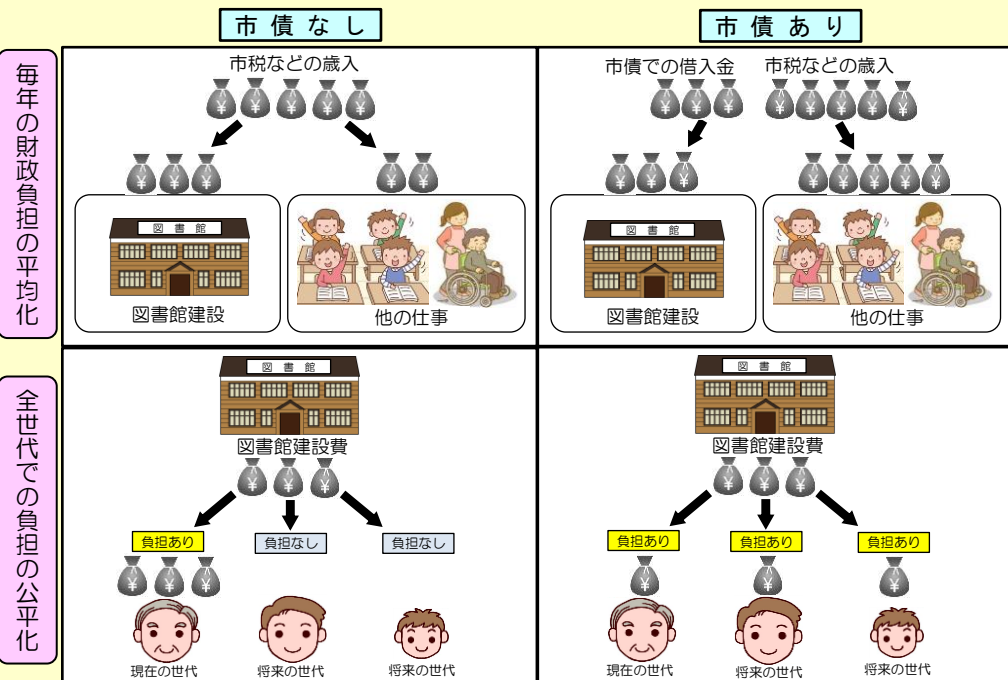
地方公共団体が資金調達のために、国や金融機関などから借りるお金（債務）を**地方債**といい、市が借りるものが**市債**です。この地方債は、何年もの長い期間をかけて返済していくもので、借りた年度内で返済するもの（一時借入金）は含みません。地方債は、お金の使用目的などによって、たくさんの種類があり、その借入先もさまざまです。

市債で借入れをする大きな理由としては、“**毎年の財政負担を平均化すること**”と“**現在と将来の市民の負担を公平にすること**”が挙げられるよ。

どうして借金をしなければならぬの？

市債で借金をすると…

例えば、市が今年度、新しい図書館を建設するとします。大規模な公共施設の建設ですので、当然、多額の費用がかかりますし、建てた図書館は、この先何十年と市民の皆さんに使っていただくこととなります。この建設費を、市債での借入れをせずに、市税などの歳入だけで今年度すべて支出することとすると、その分、他の仕事にお金がまわらなくなり、必要な市民サービスの提供に支障を来すこととなります。また、現在の市民が費用を全額負担することになるため、将来の市民は負担なしで使用するとなり、世代間の不公平が生じます。そこで、市債での借入れを行い、20年・30年といった長期間にわたって返済をすることによって、他の仕事に影響がないようにするとともに、現在の市民から将来の世代の市民までが平等に建設費を負担するようにしています。





編 集	愛知県弥富市総務部財政課
発行年月	令和4年3月
所 在 地	愛知県弥富市前ヶ須町南本田335
電 話	0567-65-1111(代表)